

To Club Presidents and Secretaries
in district 2710 (Copy to Members)



Governor's Monthly Letter

from Seiji Onoki

『雑誌月間つれづれ』

Governor's Message



国際ロータリー第2710地区
2012～2013年度ガバナー

大木 穂 二

GOVERNOR : Seiji Onoki

親愛なる会長、幹事の皆さん、今日は。今月は「ロータリーの雑誌月間」に指定され、クラブはその月間中に雑誌に関する何らかのプログラムを実施するよう奨励されています。ロータリアンに課せられている三大義務の一つが雑誌の購読であることはご存知の通りですが、RIの公式雑誌「The Rotarian」か又はRI理事会承認の地域ロータリー雑誌の、何れかを読まねばならないことになっています。最近では配布日に当る例会の席上で、担当者がその月の「ロータリーの友」掲載の主要記事を紹介する光景が多く見受けられ、それはそれで大変結構なことではありますけれども、さらっと聴くだけで読む義務を果たすと錯覚される会員がもしおられるならば、これは大いに反省して頂きたいところであります。

「ロータリーの友」は、組織の運営上必要な機関誌的機能と共に教養誌的機能を併せ持つもので、此の両者に等分の関心をお持ち頂ければ申し分ありませんが、より多くの関心を教養誌機能に当てられるなら又違った感慨が生まれてくるのではないのでしょうか。それはお可笑しいと言われる向きもおいででしょうが、肝心なことは気安く手にとって先ず自分お気に入りのコラムの頁を開くようになれば、読まれざるベストセラーの汚名を払拭することが可能になると思うのです。「卓話の泉」や「友愛の広場」「SPEECH」等は、勉強に

もなりますし心がなごむ貴重な記事の満載でお奨めです。

私の手許に「ロータリーの友」第一号のコピーがあります。コピーですから色調等は分かりかねますが、「JANUARY, 1953VOL.1 No.1」とある表紙には北斎の版画らしい富士山の絵があつて、「新年創刊號」の文字が格調高く鎮座しています。手に取っての第一印象は、第一号に抱く未成熟さと裏腹の完成度の高さが伺われ、流石に戦後のエリート集団の矜持を彷彿とさせるものと驚嘆しました。それもその筈で編集者はその道のベテランを配し、編集委員会の顔触れは手島知健RI理事を始めとするそうそうたるロータリアンという陣容ですから、先ずは格式の高いものが出来上る素地は十分にあったと思ってよいでしょう。然し機関紙の宿命か、編集者は無味乾燥になり勝ちな機関誌を避け、豊かで新鮮な雰囲気を作り込みたいとの意向を編集後記で述べていますが、所詮62頁からなる第一号にそれを期待するのは無理というもので、固いという印象は拭えないものがあります。

当時の新聞雑誌は悉く縦書きであつたにも拘わらず、多くの不安を抱え乍らも全編横書きに踏み切った英断は、時代の先取りとして評価すべき点ではないかと思われます。

其の頃日本のロータリーは第60及び第61区に分割されたばかりで(第60区―東日本49クラブ・第61区―西日本34クラブ)、その為両区の近密な関係を維持し共同の目的を達成するようにとの意図が、新刊の「ロータリーの友」に色濃く込められていたようです。「The Rotarian」のダイジェストやエッセイ二篇のほかはパスト及び現ガバナーの創刊に寄せる言葉及びクラブの近況で埋め尽くされていて、正に機関誌の面目躍如たるものがあります。現在の情報誌と教養誌を兼ね備えた「ロータリーの友」とは時代の推移と編集方針の違いから比較すべくもありませんが、初期の機関誌としての機能は美事に果しているものと敬意を払わざるを得ません。序で乍ら当時の第61区にその名が見えるクラブは、広島、呉、下関の三クラブのみであります。

- ◆ ガバナーメッセージ (雑誌月間つれづれ) P1
- ◆ ポール・ハリス語録 P2
- ◆ カウンセラーメッセージ (ロータリー雑誌月間によせて) P2
- ◆ IM 開催報告 グループ1 P3
- ◆ IM 開催報告 グループ2 P3～4
- ◆ IM 開催報告 グループ9 P4
- ◆ バリ婦人移動検診車について P5

- ◆ 第5期 RLI-2710 パートI 報告 P5
- ◆ 第6回全国 RYLA 研究会 出席報告
―東京都港区品川グランドプリンスホテル新高輪にて ... P6
- ◆ 青少年交換プログラム中四国3地区
合同オリエンテーション報告 P6～7
- ◆ 地区内 RC の会員増減・出席率 P7
- ◆ 文庫通信 P8
- ◆ 新入会員紹介 P8





ポール・ハリス語録

Collection of Paul P. Harris's Aphorisms



手島 知健
(てしま ともたけ)
(1885～1968)
1952～54年度RI理事
(日本人で3人目)。

◀東京RC会員。1949年、東京RCが戦後国際ロータリーに復帰したときの、1949～51年度第60区(当時は日本全土で1地区を形成)のガバナー。かつて、RIの日本語翻訳決定権は彼に委譲されており、「四つのテスト(The Four-Way Test)」の翻訳をとりまとめ、定訳をつけたことでも知られています。

ナショナル・ロータリアンの本来の目的は世界中のロータリアンのアイディア交換の手段を提供することで、全国レベルの役員に意見を表明する機会を与えることではありません。ですが、いつの日にか、活力あるロータリアンが自分の意見を聴いてもらうとして怒涛のごとく押し寄せてくる日を楽しみに待っています。



ロータリー雑誌月間によせて

Past Governor's Message for
Rotary's Magazine Month

パストガバナー 三次R.C 前田 茂

国際ロータリー(RI)の機関誌はRI世界本部で発行している『THE

ROTALIAN』です。この他に世界各地で、31のロータリー地域雑誌が発行されています。これらのロータリー関係雑誌を合せて『Rotary World Magazine Press』と呼びます。ロータリー雑誌の購読は、例会出席、会費の納入と合わせて会員の義務の一つになっています。日本では日本語で発行している『ロータリーの友』がRIが指定しているロータリー地域雑誌で1953(昭和28)年1月に創刊、1980(昭和55)年7月号から、国際ロータリーの公式地域雑誌に指定されました。地域雑誌は一度承認されれば永久に身分が保証されるものではなく、一定期間ごとにRIとの契約を更新するようになっています。その期間は4年間となっていますが、2013年の新しい契約更新を機に変更されることになっています。地域雑誌として守らなければならない規則があり、守らなければ認定を取り消されます。ただ、編集方

法や内容に深く関わるものではなく、国や地域の特性やロータリアンの希望に合わせて自由に編集することができます。

2010年4月の規定審議会の採択によりアメリカとカナダのロータリアンは、これまでの印刷版だけでなく電子版で『THE ROTALIAN』を受け取ることができるようになりました。『ロータリーの友』でも現在電子版の発行準備を進めています。又RIは公共イメージの向上に力を入れています。地域雑誌からそれぞれの国のロータリアンの活動記事をお互いに掲載し合うことでロータリーの国際性や多様性を確認、吸収してロータリアンとして認識を新たにしていくことが必要であろうと思います。1911年1月15日にチェスリー・R・ペリーにより『The National Rotarian』が発刊され、ポール・ハリスが『Rational Rotarianism』(合理的ロータリアニズム)という論文をトップ記事で発表したのが最初の機関誌になったわけでありです。時代の変遷を経ながら今日の現状を見ることも必要と思います。

世界フォーラムに向けて

2013年5月17日に広島で世界フォーラムが開催されます。世界中から集まる仲間と共にロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」を歌います。

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y

That spells Rotary;

R-O-T-A-R-Y

Is known on land and sea;

From North to South, from East to West;

He profits most who serves the best;

R-O-T-A-R-Y

That spells Rotary.

IM 開催報告 グループ1

Group One Report of Intercity Meeting

グループ1 ガバナー補佐 鷲頭 信



2013年2月23日（土）は朝から快晴に恵まれ、グループ1のIMを湯本温泉、白木屋グランドホテルにて開催致しました。



下関市・長門市7クラブの全員登録を頂き、ご来賓として大之木精二ガバナー、沖田哲義ガバナーエレクト、永富 稔パストガバナー、紺箭素彦ガバナー補佐エレクト、白木邦彦パストガバナーをお迎えしました。今回IMのテーマは、田中作次国際ロータリー会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」に基づいて「心の平和」と致しました。

11時30分より市内の保育園児・小中学生で構成された「みすゞ少年少女合唱団」による金子みすゞ童謡集の合唱で始まりました。昼食後、開会行事に続き、地元仙崎で生まれ育った、童謡詩人「金子みすゞ」のすべてのものに対するやさしさ、思いやりの心、について「童謡詩人金子みすゞさんの平和

観」という演題で金子みすゞ墓所の遍照寺住職で長門RC会員の、倉本優善君が講演を行いました。

「心の平和」をテーマとしたパネルディスカッションでは、長門RC幹事の萩隆宣会員がコーディネーターを務め、パネラーとして、下関RC西村義詮会員、下関東RC木下稔会員、下関北RC小笠原真義会員、下関西RC笹尾和郎会員、下関中央RC前田周作会員、油谷湾RC湊正人会員、長門RC岩田啓靖会員にご参加頂きました。まず、参加者全員に平和について基本的な質問をした後、各パネラーより、心の平和、家庭の平和について、個性的で、ユーモアあふれる意見が出て、大いに盛り上がりました。懇親会もなく、ささやかなIMでございましたが、ご来賓をはじめ、多くの会員の皆様のご参加に対し、心よりお礼申し上げます。



IM 開催報告 グループ2

Group Two Report of Intercity Meeting

グループ2 ガバナー補佐 萩東RC 篠原 勝



山陰萩には珍しく透きとおった冬晴れの2月24日（日）「萩セミナーハウス」に於いて、ホストク

ラブ萩東RC綿貫實実行委員長のもと、大之木精二ガバナー、金子信パストガバナーをはじめガバナー補佐エレクトの方々をお迎えし、会員登録170名・出席者145名のご参加をいただき、グループ2のIMを開催しました。

第1部基調講演「21世紀を生き抜く悪戦苦闘能力」と題し、九州ルーテル大学客員教授大畑誠也氏にお話をいただきました。学校教育・家庭教育・社会教育を通じて、他者に対するおもいやりのこころを育てること、志を持ち行動することが現代社会に大切になってきていること、また、個々が元気を出すことが活力の源であり、地域を活性化し明るい社会を作ることにつながるなどをお話いただき、熱気溢れる90分でした。第2部パネルディスカッションではRLI方式とし、7RCのパネラーにより、まず各クラブの奉仕事業の実践報告がありました。会場からも貴重な意見発表があり、カウンセラーの

大畑誠也氏と大之木ガバナーを中心に、インターアクトクラブや青少年交換留学生の激減

化等、問題点を討議しました。本年度IMテーマ「如何に新世代とかかわるか」という大きな課題について、大畑氏は明治維新の原動力となった長州の吉田松陰先生や高杉晋作を引き合いに出され昔の男性は元気だった。今もっと男性が元気を取り戻さなくてはならない。学校での勉強だけではなく卒業し実社会こそが本格的な社会勉強の場であり、我々ロータリアンが新世代に向けて共に体験・行動していくことが重要だと強調され、活力と感銘を受けた一日でした。





本年は懇親会を昼食会とし、歓談の場として「萩ものしり博士検定集」の問題とロータリークイズを



出題し、各グループ毎に解答していただき他クラブ会員同士楽しく親睦を深めることができました。

会場設営等では何かとご不便をおかけしましたが、このIMがこれからの奉仕事業の参考になれば幸いです。

最後になりましたが、グループ2の皆様には、多大なるご協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

IM 開催報告 グループ9

Group Nine Report of Intercity Meeting

グループ9 ガバナー補佐 林 克宏



去る2月17日(日)国際ロータリー第2710地区グループ9のインターシティ・ミーティング(IM)がグループ内7つのクラブから156名の参加を得、ご来賓には大之木精二ガバナー、長行時義人地区副代表幹事、伊賀訓之地区



ロータリー財団夢計画準備委員会委員長、元廣清志グループ9ガバナー補佐エレクトをお迎えして、因島市民会館で開催致しました。

厳粛な中で行われた開会セレモニーの後、今年度は基調講演と記念講演の二部構成で行い、基調講演は昨年度各クラブより提出して頂いた「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」を拝見したときに次年度から変更されるロータリー財団の新地区補助金制度についての質問が多くありましたので夢計画準備委員長の伊賀氏にお願いして「ロータリー財団の新しい改革と各ロータリークラブへの効用について」というテーマで講演をして頂きました。次年度からは地区補助金が大幅に増えるという事で地域が望んでいる事をよく調査して地域社会のニーズに合った人道的奉仕プロジェクトを計画して補助金を申請してくださいと話されました。その為には各クラブにモデルマニュアルがありますのでそれに沿って申請し、地区との覚え書きを交わし、補助金管理セミナーに出席して頂きたいといわれていました。講演を聴かれたロータリアンの方は申請の仕方、どんな事業を申請すれば良いかよく理解できたのではないかと思います。

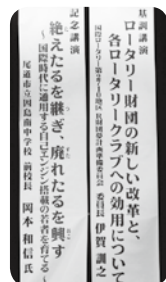
記念講演はテーマとして「絶えたるを継ぎ、廃れたるを興す」又サブテーマとして「国際時代に通用

する自己エンジン搭載の若者を育てる」と題して尾道市立因島南中学校前校長の岡本和信先生に講演をして頂きました。先生が東南アジア等を視察されたことを具体的に例を挙げ、新聞等に載っている資料を示して日本の若者は他の国の若者に比べて何が欠けているかを話してくれました。どの国の若者も自分の国は自分が作るという共通の目的を持っているが日本の若者にはこんな考えを持っている者は少ないのではないかとされています。又、他の国では留学する若者が増えているのに対して日本では減少している、これでは国際競争には勝てないのではないかとされました。日本は戦後の教育では愛国心が戦争と繋がるとして教えていなかったのではないかとされました。つまり絶やしたものの、廃れたものは愛国心ではないかとされました。それを興すには地域に奉仕、貢献することにより郷土愛が芽生え愛国心に繋がっていくのではないかとされ、又、地域に奉仕、貢献することはロータリーの理念に繋がるのではないかと結ばれました。



懇親会は備後雅楽同好会の方たちの「越天楽」で幕を開け、長行事地区副代表幹事の乾杯で始まりすぐに歓談の輪が広がり、IMの目的である情報の交換、友情の芽を育てられました。アトラクションとしてはジャズ演奏がありそれを聴きながら十分に歓談いただき充実した懇親会であったと思います。

ご参加頂いたご来賓をはじめグループ9のロータリークラブの皆様のご協力に感謝し、又、ホストクラブである因島ロータリークラブの皆様にお礼を申し上げます。





バリ婦人移動検診車について *Presentation of Mobile Medical Check for Women in Bali*

国際ロータリー第2710地区 バストガバナー 筒井 数三

2013年2月14日、株式会社シンコー本社において大之木ガバナーご出席の下、バリ・タマン RC から

の代表者に対する新婦人検診車製作費用寄附金の贈呈式を取り行いました。

「新婦人検診車」と表現したのは、実は現在もバリ島において1997年にRI第2710地区の事業として寄贈した婦人検診車が稼働していますが、耐用年数を過ぎたため、新たに代替車を製作するという意味です。

観光地として発展著しいバリといえども地方の村では医療サービスがほとんど受けられず、又住民の医学知識も非常に乏しいのが実情です。このような状況の中で婦人検診車は大いに活躍し15年間で約3万人の検診を実施したと聞いています。私自身も直近では一昨年9月にバリを訪問し、実際に検診車



に同行し地方の村での検診を視察しましたが、検診に対する感謝の声とともに

永続的に検診を続けて欲しいとの声を直接耳にしました。

昨年5月にバリ・タマン RC の



会長さん他数名の方が、私の「超我の奉仕賞」受賞のお祝いのため来広された際、代替車製作のための援助の要請がありました。私よりは、バリ・タマン RC が一体となってこのプロジェクトを遂行するのであれば、援助することは吝かではない旨回答しましたが、その後プロジェクト内容が具体化してきましたので、今回の寄附金贈呈となったものです。

本件で私の心を動かした一番大きなモチベーションは、現地の人たちの検診を待ち望む真剣な目でしたが、新しい検診車が末永く稼働しバリ島の女性たちの健康増進・生活レベルの向上に寄与することを心から願っています。又、本プロジェクトの趣旨に賛同しご寄附をいただいた広島東 RC の有志の皆さんにもこの場を借りてお礼を申し上げます。



第5期 RLI-2710 パート I 報告

Report of Rotary Leadership Institute Part One

2013-14 年度地区研修リーダー・バストガバナー 岡田 幹矢

第5期 RLI-2710 パート I は2月10日(日)広島都市学園大学において開催されました。

当日の出席者は75名、うち2014-15年会長予定者が45名で(出席者比では60%、地区内クラブ比では61.6%)、今回初めてRLIの研修を受けられる方は65名でした。



諸先輩の努力で、地区の指導者の育成が順調に進んでいることは誠に喜ばしいことです。

今回は、ガバナー補佐全員がディスカッションリーダー(DL)に選任され、第4期から継続の6名のDLを含めた18名のDLによって研修が行われました。

また第4期から始まったアドバイザーの本格的設置によって、経験豊富なバストガバナーに適宜コメントを頂き、学習のレベルアップにつながるようになっていきます。

当日、アドバイザーをお願いしたバストガバナーの方にはほぼ全員ご出席頂きました。

反面、風邪等の理由により当日の欠席者が7名にものぼり、自主参加の形を取っているにせよ、今後の運営に影響を及ぼす残念な結果となりました。

当地区のRLIは既に第5期に入っており、その先見性、実績、運営方法、内容等で全国でもトップクラスに位置していると思われます。

最後の締めくくりに諏訪 RLI-2710 地区代表委員からロータリーの理念を含めた総評が有りました。

「ロータリーは奉仕団体である」という人がいるが、それも間違いではないが、その前に「ロータリーは自己研鑽、修練の場である」ことを忘れてはならない等、ロータリーの基本に係わるコメントを頂きました。

次回パートIIにおきましても、ロータリーの理念・原点を学び、ロータリアンの資質向上に繋がる研修会になるよう期待しております。

次回の第5期 RLI-2710 パート II は4月14日、広島都市学園大学で開催されます。





第6回全国 RYLA 研究会 出席報告 —東京都港区品川グランド プリンスホテル新高輪にて

*Report of the Sixth National Convention
for Rotary Youth Leadership Awards*

2013-14 年度世代奉仕部会長 木下 稔

2月9日10時、品川のグランドプリンスホテル新高輪にて第6回全国 RYLA 研究会が開催されました。参加者は28の地区から110名と大会役員16名の総勢126名のロータリアンが集まりました。私たち第2710地区からは南園元 RI 理事、沖田 GE、次年度下関東 RYLA 実行委員会の中嶋委員長、吉利副委員長そして私が出席致しました。

点鐘後次第の最初は南園元 RI 理事の基調講演でした。内容は「ロータリーの綱領」が7月1日より「ロータリーの目的」と改訂されることになった経緯の説明、次に新世代の流れを RYLA 国際大会を一例として内容に適合した経費とすることが必要とのご教示をいただき、最後に5月17・18日「ロータリー世界平和フォーラム・広島大会」について話されました。

次には御手洗 RI-RYLA 委員と海沼 RIRA・IA 委員から RI 委員会の報告がされました。内容としては RYLA 国際大会が過去に一度中断され、それを再開することに大変なエネルギーが必要だったとのことでした。継続させることがいかに大切かを訴えました。

午後からは RYLArian からの報告、そのあと各地区から4名の精鋭ロータリアンによるパネルディスカッションと続き、質疑応答の時間と講評を受け最後に参加者全員での記念撮影を行い16時30分に終了しました。

パネルディスカッションではパネラーの共通した提言に「RYLA セミナーにおいては飲酒の場は不要」との意見がありました。これは参加青年だけではなくロータリアンにも適用すべきではないかとの意見です。私たちの地区も一考を要すると思います。以上が5時間30分の研究会プログラムの主な講演内容です。

次に私がこの研究会で強く印象に残った講演者の言葉を四つご紹介させていただきます。

・南園元 RI 理事：「RYLA 国際大会を一例として新世代の取り組みには最初からお金がかかるものと

考えず、またお金をかければいいものが出て来ると考えず、内容に適合した経費にすることが大切です。」

・松藤 D2700 新世代奉仕委員長：「RYLA はロータリアンが青少年に何を教えるのか何を与えるのかが明確でないと成功しない。そしてどれだけ情熱を持った人が取り組むにかかっている。」

・市川 D2750PG：

「人口が減少する日本にとってそのこと

自体が大変ではなく良質な指導者が減って行くことが本当の危惧するところです。RYLA は参加人員の量ではなくスゴイ若者を輩出することです。」

・松岡 RYLArian：「チャンスを待っている若者は沢山います。」

この松岡さんは高校時代 YE に参加し RYLA へ2回参加経験のある大手商社勤務の青年ですが、彼はロータリーとかかわった自分の体験から格言とも言えるこの言葉を私たちに向かって投げかけました。私たちロータリアンはチャンスを待っているかも知れない若者たちへもっとロータリーのプログラムへ参加を呼びかけなければなりません。

今回の RYLA 研究会は RYLA セミナー開催を成功させるための企画と運営のノウハウ取得の場として臨みましたが、それは違い RI 常設4プログラムを総体的に考えさせ、ロータリー新世代奉仕活動の取り組み方を学んだ大変充実した研究会でした。

この経験をこれからの地区活動と各クラブへのサポートに役立てて行きたいと思います。

※略字意味：RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）
RI（国際ロータリー） RA（ローターアクト） IA（インターアクト）
RYLArian（RYLA セミナー受講修了者） YE（青少年交換） GE（ガバナーエレクト） PG（パストガバナー）



青少年交換プログラム 中四国3地区合同 オリエンテーション報告

*Report of Joint Orientation for Rotary Youth
Exchange Program in Chugoku & Shikoku*

青少年交換委員長 山村 貞夫

2月16、17日の2日間、倉敷シーサイドホテルに於いて、中四国3地区合同で、派遣予定留学生、

受け入れ留学生及び学友会（留学経験者、ローテックスとも称する）の研修会を行いました。

チェックイン、昼食を済ませ13時30分からオリエンテーション、自己紹介に続き、早速講師の先生

による研修が始まります。

受け入れ留学生は、すでに半年近く日本語で授業を受け、勉強していますから、個人差はありますが皆、一生懸命に日本語でスピーチをします。そして、アトラクションでは、それぞれのお国自慢の唄や楽器ダンスなどを披露してくれます。

学友会は、慣れたもの。経験者でもあり、留学先で鍛えられた強心臓でスピーチやアトラクションの芸も堂々となしてゆきます。

派遣予定者には、講師の先生から「大きな声で!」とか「もっとはっきりと!」など、叱咤激励の声が飛び、自分をアピールする為の方法を学んでゆきます。また、「君たちは、留学予定者であり、決定しているわけでは無い。従って、この研修会の態度、成績いかんでは留学取り消しも有りうる」と、脅かされたりしながら本当に一生懸命ノートをとっています。



そして夕食後は、再び研修が始まります。

21時に研修が終わった後は、学生達は先輩達にいろいろ留学に関する事を質問する和気あいあいとした時間が与えられ、我々委員会のメンバーは、講師を囲んで悩みや相談事を話し合います。



あくる日も留学予定者は朝8時30分から研修が続き、受け入れ留学生と学友会達はエクスカッションに出掛けて行きます。昼食を挟んで15時まで研修会は続き、留学予定者達は、ヘトヘトになる位みっちりとして留学に対する心構えを叩き込まれるわけですが、これも、ロータリーの親善大使として留学を成功させる為の厳しい修行なのです。

予定者が決定者となり、大きく羽ばたいてくれる事を信じ、研修会の報告とさせていただきます。

国際ロータリー第2710地区 2012-13年度 74RCの会員増減・出席率 2013年2月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	当 月		本 年 度		増 減	
					年度初 (7/1)	末 日	内女性	入会者	退会者	
グループ1	長 門	4	88.91	93.57	32	32	4	0	0	0
	下 関	3	85.71	85.89	46	49	1	4	1	3
	下関中央	4	84.67	80.81	27	31	6	5	1	4
	下関東	4	92.42	83.54	45	48	0	5	2	3
	下関北	4	91.66	91.35	41	42	0	2	1	1
	下関西	4	77.5	86.67	40	40	1	1	1	0
	油谷湾	4	100	100	12	12	0	0	0	0
	計		88.7	88.83	243	254	12	17	6	11
グループ2	萩	4	95.31	91.51	52	54	0	3	1	2
	萩 東	4	100	98.62	24	22	0	0	2	-2
	美 祿	4	71.67	74.23	26	28	0	3	1	2
	小野田	4	83.75	83.97	42	40	0	1	3	-2
	宇 部	4	86.54	88.57	50	51	2	5	4	1
	宇部東	4	69.06	70.55	19	17	2	0	2	-2
	宇部西	4	88.4	90.61	51	53	1	4	2	2
	計		84.96	85.44	264	265	5	16	15	1
グループ3	防 府	4	84.09	89.21	53	55	0	4	2	2
	防府北	3	82.54	81.86	19	21	2	2	0	2
	防府南	4	86.43	87.93	32	35	7	4	1	3
	山 口	4	92.78	94.58	51	56	2	5	0	5
	山口中央	4	80	88.63	7	6	2	0	1	-1
	山口県央	4	97.14	97.75	32	35	1	5	2	3
	山口南	4	84.61	85.86	37	39	4	3	1	2
	計		86.8	89.4	231	247	18	23	7	16
グループ4	光	3	91.67	96.36	47	49	0	3	1	2
	周南西	4	98.13	99.69	42	42	3	2	2	0
	徳 山	5	94.59	96.98	44	48	1	7	3	4
	徳山セントラル	3	90.32	89.63	30	31	1	1	0	1
	徳山東	4	97.51	97.07	51	52	0	4	3	1
	計		94.44	95.95	214	222	5	17	9	8
グループ5	岩 国	4	73.53	79.82	57	61	0	7	3	4
	岩国中央	4	91.34	91.14	40	40	3	0	0	0
	岩国西	4	82.33	85.15	58	56	2	1	3	-2
	柳 井	4	100	100	31	32	2	3	2	1
	柳井西	4	99.07	99.36	29	29	2	0	0	0
	計		89.25	91.09	215	218	9	11	8	3
グループ6	広 島	4	99.58	99.45	110	119	0	12	3	9
	広島安芸	4	95.29	96.59	43	42	3	2	3	-1
	広島安佐	3	81.82	85.76	22	22	1	1	1	0
	広島東	4	96.05	97.08	88	92	5	9	5	4
	広島北	4	98.7	99.63	81	80	0	2	3	-1
	広島慶北	4	97.78	98.7	38	45	0	7	0	7
	大 竹	4	89.77	88	31	32	0	2	1	1
	計		94.14	95.03	413	432	9	35	16	19

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	当 月		本 年 度		増 減	
					年度初 (7/1)	末 日	内女性	入会者	退会者	
グループ7	広島中央	3	100	99.54	57	66	8	11	2	9
	広島廿日市	3	88.89	90.75	37	39	1	2	0	2
	広島城南	4	96.4	95.72	50	55	2	7	2	5
	広島南	4	98.5	99.3	86	88	0	3	1	2
	広島東南	3	100	100	85	87	8	5	3	2
	広島西南	4	98.27	99.41	61	60	4	1	2	-1
	広島西	4	100	99.95	79	78	0	3	4	-1
	計		97.44	97.81	455	473	23	32	14	18
グループ8	江田島	4	97.23	93.64	18	18	0	0	0	0
	東広島	4	100	99.44	29	31	2	2	0	2
	東広島21	3	91.23	87.17	19	19	4	0	0	0
	呉	4	88.95	91.53	72	73	0	1	0	1
	呉 東	4	100	95.6	31	34	0	3	0	3
	呉 南	4	91.53	89.41	53	55	4	3	1	2
	西 条	4	100	99.94	46	44	1	2	4	-2
	計		95.56	93.82	268	274	11	11	5	6
グループ9	広島空港	4	71	79.34	24	25	3	1	0	1
	因 島	4	86.42	87.03	24	26	1	3	1	2
	三 原	3	95.38	91.8	63	66	2	4	1	3
	尾 道	4	85.39	86.24	69	73	3	5	1	4
	尾道東	4	89.03	87.88	54	53	1	1	2	-1
	瀬戸田	4	90	90	10	9	0	0	1	-1
	竹 原	4	90.45	90.58	33	34	4	2	1	1
	計		86.81	87.55	277	286	14	16	7	9
グループ10	府 中	3	85.05	86.73	34	34	0	2	2	0
	福 山	3	93.31	96.47	78	80	0	3	1	2
	福山東	4	94.79	91.36	48	48	0	1	1	0
	福山丸之内	3	84.26	87.03	37	36	1	0	1	-1
	鞆の浦	4	85.71	88.85	27	28	0	1	0	1
	計		88.62	90.09	224	226	1	7	5	2
	福山赤坂	4	82.9	78.07	42	41	4	2	3	-1
グループ11	福山北	4	91.31	96.49	48	47	0	0	1	-1
	福山南	4	83.47	86.35	57	61	1	5	1	4
	福山西	4	96.15	91.18	43	39	2	0	4	-4
	松 永	3	91.27	90.23	45	46	2	2	1	1
	計		89.02	88.46	235	234	9	9	10	-1
	吉 舎	4	96.88	97.35	16	16	0	0	0	0
	三 次	4	76.68	80.15	40	39	0	3	4	-1
グループ12	三次中央	3	91.45	93.44	47	47	7	2	2	0
	庄 原	4	95.83	94.23	36	36	4	0	0	0
	東 城	4	85	80.85	19	20	1	1	0	1
	計		89.17	89.2	158	158	12	6	6	0
	2710地区計		90.19	90.92	3197	3289	128	200	108	92



奉仕を通じて平和を

文庫通信 (306号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、

電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の「ロータリー情報」より

元気なクラブになるために	桑原 茂	2012 10p (D.2550 地区大会記念誌)
元気なクラブになるために	小船井修一	2012 14p (D.2550 地区大会記録)
ロータリーがライラに期待するもの	深川純一	2012 6p (第34回青少年指導者育成セミナー報告書)
品格のあるスマートなクラブ その1-3	深川純一	2012 3p (純ちゃんのコーナー PartXI)
全国ロータリー・コーディネーターセミナー 抄録		2012 6p (D.2500 月信)
12月ロータリー家族月間について	菅野多利雄	2012 1p (D.2520 月信)
ロータリー財団のあらまし 1ロータリー財団の標語、使命、6つの重点分野 2わかりやすいロータリー財団モデル 3新しいロータリー財団		2012 3p D.2650 (わたし達のロータリー財団 [わかりやすい財団テキスト])

[上記申込先：ロータリー文庫]

世界からポリオの脅威を救うのは“あなた”です!!

D.2650 2012 7p

[申込先：D.2650 FAX (075) 343-2651]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

新 会 員 紹 介

New Member Introduction

 萬代泰生 美祢RC 2013年1月8日 農林業	 古豊和恵 小野田RC 2013年3月6日 小売販売業	 木田淳志 小野田RC 2013年3月6日 電気事業	 岡田利雄 防府南RC 2013年2月7日 造園	 藤三文彦 徳山RC 2013年2月21日 電気事業	 西伸二郎 岩国西RC 2013年3月1日 飲食店	 波田玉良 岩国西RC 2013年3月1日 ハウスメーカー	 山口洋充 広島安佐RC 2013年1月10日 公認会計士
 西亀正之 広島東RC 2013年2月6日 外科医	 川村和実 大竹RC 2013年2月26日 普通銀行	 今川 勝 広島廿日市RC 2013年3月4日 内科医	 藤井 巖 広島城南RC 2013年2月15日 貨物運輸	 宮本晋一 広島西南RC 2013年2月5日 弁当製造	 福田康彦 広島西RC 2013年2月14日 外科医	 萩尾勝美 東広島RC 2013年2月12日 住宅建築工事	 平尾圭司 呉南RC 2013年2月5日 ビルメンテナンス業
 小林巧治 三原RC 2013年2月26日 食料品販売	 大田原保 尾道RC 2013年2月1日 病院経営	 矢木澤守 福山RC 2013年2月4日 電気器具製造	 東森由倫 福山赤坂RC 2013年2月5日 料理店	 丸山由佳里 松永RC 2013年1月6日 美容業	 岡田研治 松永RC 2013年1月28日 介護業	 田村謙宗 三次RC 2013年1月10日 建築材料販売	 佐藤明寛 三次RC 2013年1月10日 広告

謹んで
哀悼の意を
表します



広島安芸RC
故**酒井 慈玄 殿**
(老人福祉)
2013年2月17日ご逝去(享年74歳)



長門RC
故**中丸清勝 殿**
(保険代理店業)
2013年2月27日ご逝去(享年53歳)



松永RC
故**岡田 和幸 殿**
(運送業)
2013年2月10日ご逝去(享年70歳)
●ロータリー歴/2003～04年
クラブ幹事、2002～03年 ポー
ルハリスフェロー、米山功労者